

主要地方道 三潁上陽線 (知徳交差点改良)
(交通安全事業 (交差点改良))

1. 事業概要

1) 路線の概要

主要地方道三潁上陽線は、久留米市三潁町の主要地方道久留米柳川線を起点とし、筑後市、広川町を経由し、八女市上陽町の主要地方道八女香春線を終点とする延長約18kmの幹線道路である。

広川町においては、東西方向に横断する幹線道路であり、九州自動車道広川インターチェンジのアクセス道路でもあるため、地域住民の生活を支えるとともに、地域経済・産業・観光の振興に寄与する重要な役割を担っている。

2) 事業の必要性

①事故発生抑制

右折レーンが未整備 (久留米筑後線のみ右折レーン有) であり、右折車が直進車を阻害し、朝夕の通勤時間帯を中心に渋滞が発生している。

このため、急な右折等を誘発し、接触や追突事故が多発していることから、右折レーンを設置し、事故の抑制を図る必要がある。

【死傷事故発生件数 (平成28年～令和2年) : 17件 (うち死亡事故1件)、事故内容 : 右折時2件、追突8件 等】

②安全安心な交通空間の確保

本事業区間は、小学生や中学生の通学に広く利用されており、歩行者や自転車の交通量が多い。

また、下広川小学校の通学路に指定されているが、知徳交差点西側は一部歩道が未整備であり、広川町の交通安全プログラムにも対策必要箇所として位置づけられているため、通行者の安全性向上を早期に図る必要がある。

3) 事業に期待される効果

①事故発生抑制

右折レーンを設けることにより、直進・左折交通と右折交通を分離することで、円滑な通行を確保し、交通事故の抑制を図る。

②安全安心な交通空間の確保

歩道を連続的に整備し、路肩 (1.5m) を自転車通行空間として整備することにより、子どもたちをはじめ歩行者及び自転車の安全の確保を図る。

2. 現道の状況

自動車交通量 : A-A' 断面 : 7,573台/日 B-B' 断面 : 9,023台/日 (R5.1実測)

自転車交通量 : A-A' 断面 : 140台/12h B-B' 断面 : 105台/12h (R5.1実測)

歩行者交通量 : A-A' 断面 : 180人/12h B-B' 断面 : 97人/12h (R5.1実測)

通学路 : 法指定・学校指定

交通事故発生状況 : 17件 (平成28年～令和2年)

(うち死亡事故) : 1件 (令和2年)

3. 計画内容

箇所名 : 八女郡広川町大字広川
延長・幅員 : L=330m W=6.0 (11.5) m
全体事業費 : C=3.5億円
事業着手年度 : 令和6年度
完成目標年度 : 令和10年度

4. その他特記事項

・事業に対する要望・協力体制

要望書 : 八女郡広川町智徳区からの要望 (平成28年10月) 【上記幅員構成については、警察協議を行い決定】
広川町からの要望 (令和元年10月、令和4年9月)
町村会からの要望 (令和元年11月、令和2年11月、令和3年10月、令和4年11月、令和5年11月)

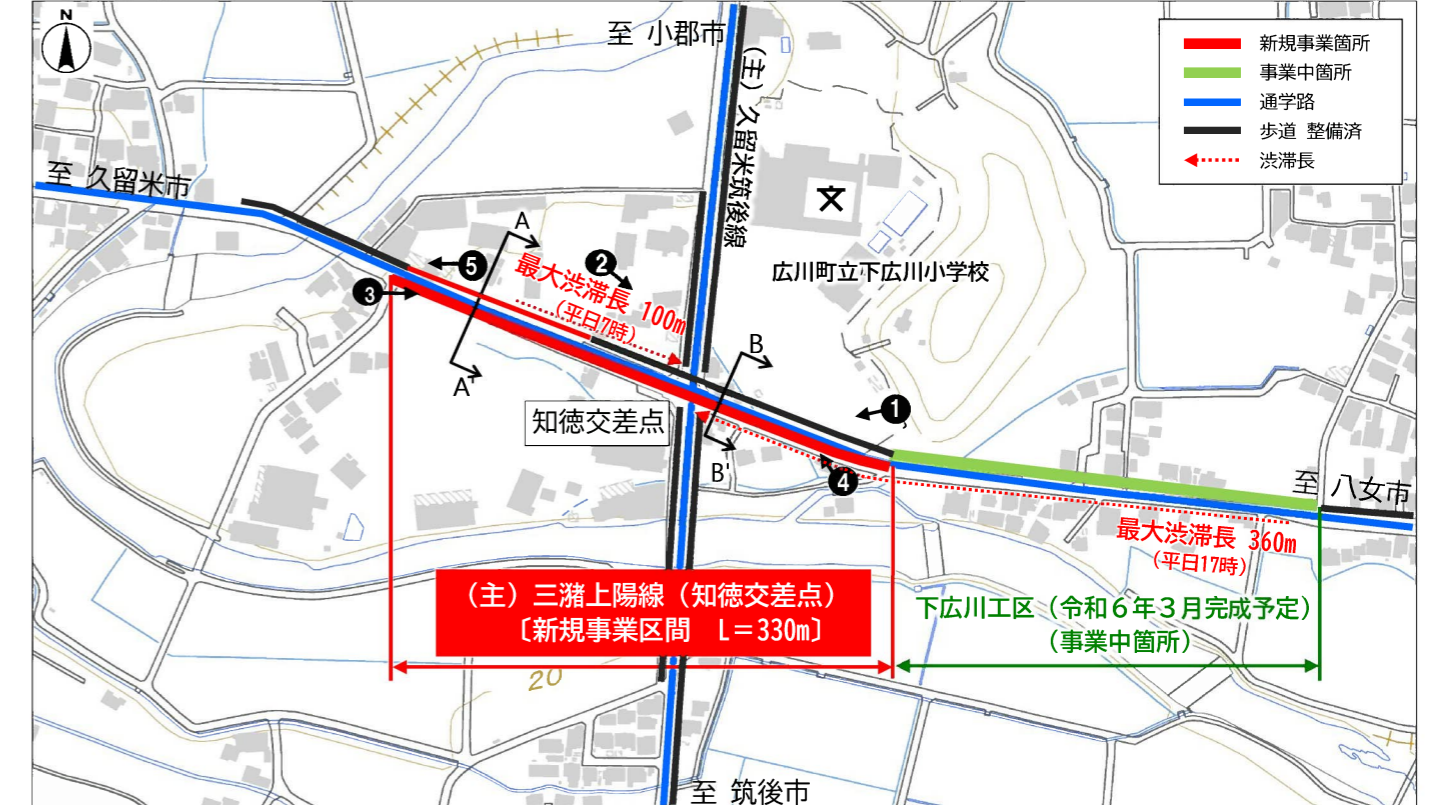
【位置図】



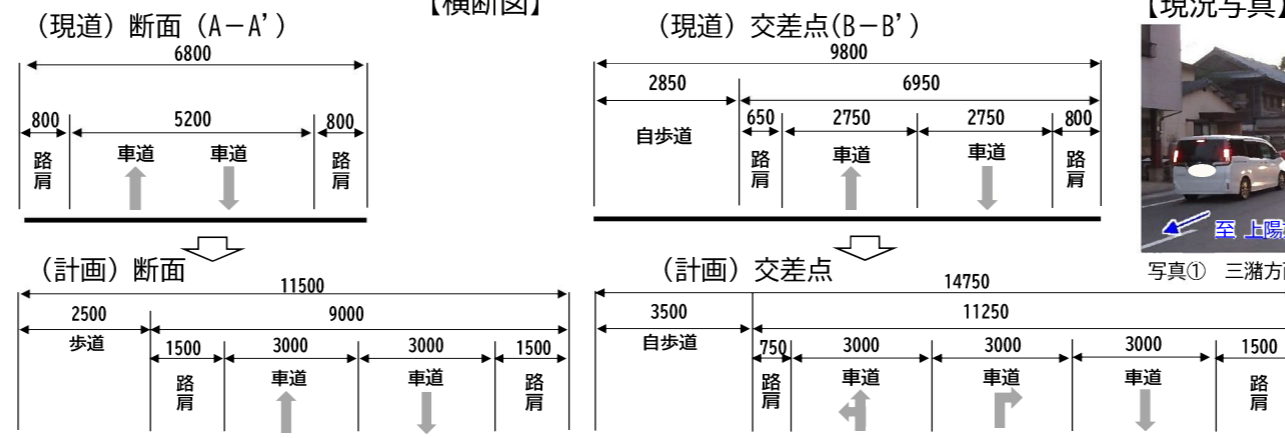
【路線図】



【平面図】



【横断面】



【現況写真】

